

2015年4月1日

**世界初のお天気マガジン「季刊 SORA」がデジタル版で生まれ変わる！
ウェザーニューズ、お天気 Web マガジン『月刊 SORA』創刊
～創刊号は火山の噴火予知の最前線を集！京都人が選ぶ通な桜名所も紹介～**

株式会社ウェザーニューズ（本社：千葉市美浜区、代表取締役社長：草開千仁）は、4月1日（水）、天気や自然を感じて五感を磨く、月刊お天気 Web マガジン『月刊 SORA』を創刊しました。2009年7月に世界初のお天気マガジン「季刊 SORA」が創刊され、発行部数は45万部となりましたが、この度、動画も楽しみたいという声や、スマホでいつでも読みたいという読者からの期待に応えてデジタル版月刊誌に完全移行しました。『月刊 SORA』は、同じ季節でもその月にしか感じられない日本の“空”や“自然”を、気軽に楽しむことができるお天気 Web マガジンで、現代人に失われがちな自然感覚や気象感覚をテーマに様々なことを読者の協力のもと伝えていきます。創刊号は、火山の噴火予知の最前線や、45年以上京都を撮り続けている写真家や人力車夫がおすすめる京都の通な名桜、パリ郊外で日本人が作る人気野菜、人気水彩画家が教える雲の描き方、雷で有名な栃木県特有の5つの雷のほか、読者から寄せられた春空の特選写真と当時の気象解説など、空を様々な角度から楽しめる情報が満載です。Web の特性を活かして動画や写真を豊富に使用し、より親しみやすい内容になるよう工夫しています。『月刊 SORA』はスマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」やインターネットサイトからご覧いただけます（無料/一部有料会員専用）。生まれ変わった『月刊 SORA』にご期待ください。

『月刊 SORA』はこちらから	
スマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」をダウンロード後、 サイドメニューから『月刊 SORA』にアクセス	インターネットサイトにアクセス http://weathernews.jp/soramagazine/

◆2015年4月号『月刊 SORA』

創刊号は、火山の噴火予知の最前線や、京都の写真家がおすすめる京都の通な名桜、パリ郊外で日本人が作る人気野菜、人気水彩画家が教える雲の描き方、雷で有名な栃木県のお天気キャスターが紹介する県特有の5つの雷のほか、読者から寄せられた春空の特選写真10選と気象予報士によるお天気解説など、空を様々な角度から楽しめる情報が満載です。

今回のメインテーマは“次に噴火する山はどこか？”と題し、昨年9月に発生した御嶽山の水蒸気爆発は予知できたのか、東日本大震災以降に火山の活動は活発になっているのか、次に噴火する山は予知できるのかなど、火山の噴火予知の最前線を京都大学大学院の鎌田浩毅教授や北海道大学の岡田弘名誉教授にお話いただきました。

月刊SORA
2015年4月号
🔄

SORA

2015年
4月号

SORA FRONT LINE
次に噴火する山はどこか？

- いま火山性地震が増加している
- 噴火予知はどこまでできるのか
- 富士山の観測体制

月刊SORAとは🔗



新発見！ 京都お天気旅
隠れた名所「西陣の名桜巡り」から西陣の鯖寿司へ。嵐山では人気の人力車夫が待っている！
ショートトリップ 京都お天気旅

また、京都を旅する「ショートトリップ 京都お天気旅 vol.1」では、45年以上も京都を撮り続けている水野克比古さんが紹介する京都の名桜5選や、嵐山の人気の人力車夫が紹介するお花見スポット3選を地図や写真と共に掲載しています。「空に訊け! vol.1」では、読者から寄せられた春空の特選写真10選を紹介し、ウェザーニューズ予報センターの内藤邦裕が当時の気象状況を解説しています。スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」の利用者から寄せられた雄大積雲、虹や夕陽のほか、桜絶景など一押しのお楽しみ写真が楽しめます。

さらに、「SORA 特集」では、“雲を撮るだけでなく、描いてみよう!”というテーマで、山にかかる雲や天使のはしごの描き方を人気水彩画家の奥津国道さんに伺い、たくさんの写真や動画と共に紹介しています。鉛筆デッサンから水彩絵の具の使い方まで、プロのテクニックを動画で見ることが出来るので、この機会にスケッチブックを持って外出してみたいかがでしょう。このほか、「パリ郊外野菜通信 Vol.1」では、従来通りのやり方を続ける「何も考えない農法」でも自然農法や有機農法などの「イデオロギー農法」でもない、新しい「山下農法」を実践し、パリの一流シェフを唸らせている山下朝史さんに、おいしい野菜をつくるコツなどをお話いただきました。

◆ 日本の“空”や“自然”をスマホで楽しむ『月刊 SORA』

『月刊 SORA』は、季節ごとに移り変わる各地の自然や天気を感じて、これから迎える季節をより一層興味深く感じていただく Web マガジンです。科学的に気象を予測する数値予報技術が発達した今、昔から人々の中で行われてきた観天望気（空や雲の動きを観察することによって天気を感じ予測すること）の機会が減っています。『月刊 SORA』は、季節を代表する雲の様子や、めったに目にするのできない自然現象などについて、その“読み方”、“感じ方”をわかりやすく解説したり、自然災害の事前対策に役立つ情報を、読者と共に伝え合うことにより、天気や自然に関する“五感”を鍛えることを目指します。また、読者から空の写真の寄稿を募る読者投稿企画も多数予定しており、投稿された各地の空の写真などは毎月紹介していきます。

月刊SORA
京都人が愛でる「西陣の...」

玄人好みの桜、千本閻魔堂の「普賢象桜」

石塔も全国的に名高い

千本釈迦堂から10分ほど北へ歩くと、千本通に面した引接寺（いんじょうじ）がある。ここは、千本閻魔（えんま）堂やえんまん堂ともいわれ、お盆の頃になると「お精霊迎え」のために、足を運ぶ地元の人も多いという。国宝『洛中洛外図』

月刊SORA
雲を撮るだけでなく、描...

も、遠景がかすんでいけば、空気中の水蒸気が多いことがわかる。

「その場でスケッチしきれない場合、写真を撮っておき、それを元に絵を描くことがあります。それでも絵を描くとき、日頃から雲の様子をじっくり観察していれば、雲の陰影や遠景のかすみ具合などの特徴をつかめます」

動画で見る

『月刊 SORA』概要	
発行	株式会社ウェザーニューズ
価格	無料、一部スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」有料会員限定
発行日	2015年4月1日（次号は2015年5月1日発行予定）